

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY



鳴門市市制施行70周年

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2017年(平成29年)6月1日

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

- 平成29年第1回定例会の主な審査状況 ②
- 平成29年第1回定例会の提出議案と議決結果 ③
- 請願の処理、記名投票の結果 ④
- 委員会審査から ⑤
- 一般質問 ⑥～⑫
- 予算審査 ⑬～⑮
- 平成29年第2回定例会の開催予定、人事案件 ⑮
- 議会活動、市民の広場 ⑯

【表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ】

新規採用職員を
激励する川田議長

市議会を学ぶ

～平成29年度鳴門市新規採用職員研修～

研修を受ける
新規採用職員

No. 99

平成29年 第1回定例会の主な審査状況

2月15日(水) 第1回定例会 開会 予算決算委員会

- 市長より市政についての所信が表明され、平成29年度一般会計予算案など議案27件、報告1件が提出されました。
- 議案12件を予算決算委員会に付託しました。
- 平成29年度当初予算にかかる議案12件の全体説明を受けました。

2月21日(火) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

2月22日(水) 一般質問

- 議員4名による個人質問を行いました。

2月23日(木) 一般質問 予算決算委員会

- 議員3名による個人質問を行いました。
- 市長より平成28年度一般会計補正予算案など議案9件が提出されました。
- 議案27件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- 平成28年度補正予算にかかる議案9件の全体説明を受けました。

2月27日(月) 総務文教委員会

- 付託された議案5件および請願2件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願1件は採択、1件は継続審査とすべきと決しました。
- 報告1件について担当課より説明を受けました。
- その他として報告2件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成29年度～平成31年度）に関する質疑を行いました。

2月28日(火) 生活福祉委員会

- 付託された議案6件および継続審査となっていた請願2件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願2件は継続審査とすべきと決しました。
- その他として報告1件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成29年度～平成31年度）に関する質疑を行いました。

3月1日(水) 産業建設委員会

- 付託された議案4件について審査の結果、議案はいずれも可決すべきと決しました。
- その他として報告5件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成29年度～平成31年度）に関する質疑を行いました。

3月2日(木) 予算決算委員会全体質疑

- 企画総務部、教育委員会、企業局、消防本部等の予算案について、議長を除く全議員で質疑を行いました。

3月3日(金) 予算決算委員会全体質疑

- 経済建設部、市民環境部、健康福祉部等の予算案について、議長を除く全議員で質疑を行いました。

3月6日(月) 予算決算委員会 第1分科会

- 企画総務部、消防本部、教育委員会等の予算案について審査を行いました。

3月7日(火) 予算決算委員会 第2分科会

- 市民環境部、健康福祉部の予算案について審査を行いました。

3月8日(水) 予算決算委員会 第3分科会

- 経済建設部、企業局等の予算案について審査を行いました。

3月13日(月) 予算決算委員会

- 各分科会から報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

3月15日(水) 第1回定例会 閉会

- 第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案36件はいずれも可決、また、請願1件については採択、3件が継続審査と決しました。
- 議員より議案1件が提出され、否決すべきと決しました。
- 市長より人事案件1件が提出され、同意しました。

【第六次鳴門市総合計画実施計画（平成29年度～平成31年度）】とは

実施計画は、第六次鳴門市総合計画で体系化された個別施策の計画的・効率的な事業の進捗を図るため、財政状況や事業の優先順位に基づき、主要な事業の年次計画や事業量などを明らかにしたもので、毎年度の予算編成の指針となるものです。

このことから、今後の社会経済情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に迅速かつ的確に対応するため、毎年度計画の策定を行います。

《 平成29年 第1回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第1号	平成29年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算
議案第2号	平成29年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第3号	平成29年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第4号	平成29年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第5号	平成29年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算		
議案第6号	平成29年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算		
議案第7号	平成29年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		
議案第8号	平成29年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第9号	平成29年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第10号	平成29年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第11号	平成29年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第12号	平成29年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算		
議案第28号	平成28年度鳴門市一般会計補正予算（第4号）		
議案第29号	平成28年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第30号	平成28年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
議案第31号	平成28年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第32号	平成28年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第33号	平成28年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第34号	平成28年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第35号	平成28年度鳴門市水道事業会計補正予算（第2号）		
議案第36号	平成28年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）		
議案第13号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第14号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について		
議案第15号	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		
議案第16号	鳴門市学校給食センター条例の一部改正について		
議案第17号	鳴門市学校給食費徴収条例の制定について		
議案第18号	鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例の制定について	原案可決	生活福祉
議案第19号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について		
議案第20号	鳴門市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案第21号	鳴門市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案第22号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について		
議案第23号	鳴門市子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部改正について		
議案第24号	鳴門市工場立地法地域準則条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第25号	鳴門市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について		
議案第26号	鳴門市企業立地奨励条例の制定について		
議案第27号	鳴門市水道事業給水条例の一部改正について		
報告第1号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報 告	総務文教
発議第1号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	否 決	
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	

請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第21号	鳴門市へのI R導入可能性調査の早期実施についての請願書	採 択	総務文教

請願第16号 国庫負担を増額し、国民健康保険税（料）の引き下げを求める請願
 請願第18号 さらに年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を国に求める意見書採択についての請願
 請願第20号 業者婦人の働きを認めない差別的税制、所得税法第56条の廃止を求める請願
 については、委員会の審査において継続審査となりました。平成29年第2回定例会で、再度審査を行う予定です。

■ 発議第1号 鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

3月15日の定例会最終日に、野田粹之議員ほか7名より「鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について」の議案が提出されたことにともない、提案理由説明、討論が行われ、採決の結果、否決されました。

〈討論〉

提 案 理 由	<p>【野田 粹之】 社会情勢や行財政改革を考える時、議員定数をせめて2名は削減する必要があると思います。今まで6回定数削減を提案したが、いずれも否決されました。本当に市民の声に耳を傾けて、厳しい状況での選挙で選ばれてこそ、議員としての立場で物申せるのではないかと。また新たに議員になろうと志す人に「より崇高な思い」を持って挑戦して欲しいと思います。今年11月19日告示、11月26日投票の予定で、鳴門市議会議員、鳴門市長同時選挙が実施されると決定した今、改めて、新しい時代にふさわしい地方議会になるよう議員定数を削減する議案を提出するものであります。</p>
	<p>【宅川 靖次】 平成17年には約6万4,500人だったのが平成28年末で約5万9,500人となり、10年余りで5,000人の減少となり、今後さらに人口が減少すると思われる。本市において行財政改革するためには、議員自らも身を切る改革が必要であり、議員報酬の見直しや政務活動費を含め総合的に判断し、また市民の皆さんの率直な声に耳を傾け、私は2名削減に賛成いたします。</p>
	<p>【秋岡 芳郎】 平成25年に議員有志が実施した市民アンケートで86.7%の人が議員定数削減を望んでいることを受け、鳴門市の厳しい財政状況の中、議員自らが身を切る覚悟を示すべきと訴え続けています。さらに「市会議員は自分を守ることにしか考えていないのか。」等の意見を真剣に考え、厳しい選挙で選ばれ、より広く、アグレッシブに活動すべきであります。</p>
	<p>【平塚 保二】 私は提案者から調査の結果は、以前は市民の声は人口減少傾向や身を切る改革案を述べられており、本来は共に4削減案の18で条例改正を行うべきと、先年の9月議会で反対討論を行いました。しかし、議会のルールから提案者が2名以上居なければ提案できず、この度の2はあくまで4に到達する過程であり、今年11月選挙を控えた今議会こそ新たな志を持つ新人の為に、早急に可決し選ばれてこそ価値があり、約8年間同様の討論の繰り返しで反対側の各位には期限を明確にすべきです。</p>
賛 成 討 論	<p>【東 正昇】 平成28年6月に「議員定数等調査特別委員会」を設置しましたが、いろんな観点からの調査検討・分析の議論を十分にしないまま委員会を閉じたのが現実であります。本市の定数は22人であり、他の類似団体からしても、平均以下の人数であります。議員定数の本質を議論することなく、市民の受けが良いといった短絡的な定数削減に反対するものであります。</p>
	<p>【谷崎 徹】 削減案は、この任期中に2名から4名へ、そして元に戻り2名へ、そこには一貫した主義、主張は見えて来ない。極論すれば2名を削減することにより、ほぼ2,000名の市民の多様な声を汲み取ることが議会自らが放棄することになる。市民の方から議員を減らせとの声は、もっと議員個々の資質を高めることを求められているのではないかとと思う。</p>
反 対 討 論	<p>【東 正昇】 平成28年6月に「議員定数等調査特別委員会」を設置しましたが、いろんな観点からの調査検討・分析の議論を十分にしないまま委員会を閉じたのが現実であります。本市の定数は22人であり、他の類似団体からしても、平均以下の人数であります。議員定数の本質を議論することなく、市民の受けが良いといった短絡的な定数削減に反対するものであります。</p>
	<p>【谷崎 徹】 削減案は、この任期中に2名から4名へ、そして元に戻り2名へ、そこには一貫した主義、主張は見えて来ない。極論すれば2名を削減することにより、ほぼ2,000名の市民の多様な声を汲み取ることが議会自らが放棄することになる。市民の方から議員を減らせとの声は、もっと議員個々の資質を高めることを求められているのではないかとと思う。</p>

記名投票の結果

〈賛成10：反対11〉

議決結果	谷崎	宮崎	叶井	佐藤	野田	林	宅川	大石	上田	平塚	藤田	松浦	山根	東	浜	秋岡	潮崎	東谷	三津	橋本	圃山	川田	
	徹	光明	克典	絹子	粹之	勝義	靖次	美智子	公司	保二	茂男	富子	巖	正昇	盛幸	芳郎	焜及	伸治	良裕	国勝	俊作	達司	
賛成				○	○		○	○		○			○			○	○		○	○			議
反対	○	○	○			○			○		○	○		○	○			○				○	長

※議長は、地方自治法第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。

委員会審査から

総務文教委員会

● 議案第16号 鳴門市学校給食センター条例の一部改正について

〔説明〕 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、現在建設中の新学校給食センターの位置及び名称を条例で規定するなど、所要の改正を行うもの。

〔質疑〕 災害時等における米飯の提供に関する規定は当該条例で明記されていないのか。

〔回答〕 このたびの条例改正は平常時を想定しているが、非常時は、当該条例の学校給食の提供対象として「教育委員会が必要と認める者」という規定を適用することで、新学校給食センターの米飯施設を災害時の炊き出しに活用できる。



災害時に、「教育委員会が必要と認める者」という規定を適用することで、新学校給食センターの米飯施設を炊き出しに活用できる。

生活福祉委員会

● 議案第20号 鳴門市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

〔説明〕 介護保険法及び関係省令の改正にともない、所要の改正を行うもの。

〔質疑〕 介護職員も含めて人員配置が決められているが、資格を有さずに職に就いている者がいるのか。

〔回答〕 介護職員については特に有資格者でなくてはならないということではなく、生活相談員についても、基本的には社会福祉士の資格を有する者となっているが、県の運営基準等によると社会福祉士の資格を有していなくても、実務経験が何年以上あるなど、同等能力があるということで配置されている場合もある。

〔意見〕 経験がなくても介護職員として従事する可能性もあり、人命に関わるような時に適切な処置ができるようにしなければいけないと思う。施設によって研修するかどうか、どこまで市が関与できるのか分からないが、人命、介護、生活を支援していくという意味では、市として最低限の方針を示した方がよいのでは。

〔回答〕 研修について、現時点では詳細な市の基準はないが、市でもスキルを担保できるような方法を検討していきたい。

〔意見〕 何か問題が発生したときには、市も責任を問われることになる。未然に防ぐ観点からも、スキルに関しては一定の基準を確保していかないといけないのでは。

産業建設委員会

● 議案第26号 鳴門市企業立地奨励条例の制定について

〔説明〕 現行の企業立地奨励制度の抜本的な見直しにともない、既存の条例の全部を改正するもの。主な改正点は奨励措置、奨励措置期間、奨励指定事業所について。

〔質疑〕 事業所については、本社ではなく支社であってもよいのか。

〔回答〕 基本的に企業誘致について、本社は別の場所でも、鳴門市に工場を建てる場合もあるので問題はない。

〔質疑〕 この条例の予算措置について。

〔回答〕 基本的には課税の減免になるので予算措置はない。雇用奨励金については現時点ではまだ見込みがないため、見込みが出た時点で補正予算等により対応したい。

予算決算委員会

● 議案第1号 平成29年度鳴門市一般会計予算

〔説明〕 鳴門市総合戦略や第6次鳴門市総合計画後期基本計画に定める、未来のまちづくりに向けた各施策の取り組みを推進していく必要がある。今回の予算編成においてはスーパー改革プラン2020の中期財政収支見通しや財政健全化の推進に留意しつつ、四国のゲートウェイ推進事業や地域福祉の向上、防災対策など緊急性、必要性の高い施策を機動的かつ積極的に展開し、未来志向のまちづくりを着実に推進できるよう予算編成を行った。平成29年度の一般会計予算は総額229億5,000万円となり、対前年度比20億7,500万円（8.3%）減となっている。

〔質疑〕 A S Aサイクリングツーリズム推進事業はサイクリングコース整備後も運営費用が発生するのか。

〔回答〕 淡路島と鳴門市の間で自転車をトラックで輸送する費用が発生する。

〔質疑〕 鳴門駅を整備する機会にWi-Fiを設置してはどうか。

〔回答〕 外国人観光客も増えてきていることから検討していきたい。

一般質問

代表質問

① 野田 粹之(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 人事管理について
- (2) 鳴門市の公共交通について



② 東 正昇(会派 郷土)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 平成29年度当初予算編成について

2. 福祉行政について

- (1) 公立保育所について

3. 教育行政について

- (1) 新学校給食センターについて

③ 谷崎 徹(会派 志)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 交流拠点の整備について
- (2) 消防分団の見直しと施設の整備について
- (3) 空き家対策について



④ 浜 盛幸(会派 公明党鳴門市議団)

1. 福祉行政について

- (1) 災害時の福祉避難所マニュアルについて
- (2) 児童虐待の対応について



⑤ 宅川 靖次(会派 平成なると)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 地方創生について
- (2) 防災行政について



《傍聴にお越しく下さい》

- ・本会議・・・議場
(受付:東側階段より3階議場入口)
- ・委員会・・・委員会室
(受付:中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡ししますので、受付にてお名前、ご住所、年齢をご記入ください。職員がご案内いたします。

問 今鳴門市の自家用車以外の公共交通手段は、路線バス、地域バス等、これらは市バスを廃止するにあたり、受け皿として実施運行されたもので、今は車社会で車の運転をしていた人の免許返納後の足の確保も必要です。そこで聞きします、鳴門市では、市民の足を守る交通手段にどの位の費用を使っているのか、どの位の人の足を確保しているのか、利便性についてどのように分析されているのか。

答 市から徳島バスに補助金を拠

要望 鳴門市は山あり海あり、面積も135km²、人口6万人弱。大地区、北灘地区と撫養地区では全く事情が違いますし、一手段で多様なニーズに応えるのは無理です。いろんな手段を合わせて鳴門市独自の交通手段を創っていただきたい。安心して免許返納ができるようになればありがたい。これからの社会には是非必要な事業と思う、是非体制づくりから取り組んでいただきますよう強く要望します。

問 一連の不祥事を受け幹部職員を初め全職員に対し訓示をしたと聞きますが、再発防止に向けてどのように取り組もうとされているのか。

答 倫理意識の確立に向けた研修等の取り組みを初め、役職に関係なく職員間で情報を共有し風通しのよい職場環境づくりを推進し、全庁挙げて法令遵守の徹底及び職務規律の確保にしっかりと取り組みます。



会派 創心クラブ
のだ さいゆき
野田 粹之



市民の足に欠かせない地域バス



会派 郷土
あずま まさのり
東 正昇

問平成29年度当初予算の編成方針は。

答子育て対策・防災対策など本市の将来を見据えた未来志向のまちづくりを推進するための予算編成としました。

平成29年度は、市制施行70周年という節目の年から、市民の皆様にとって記憶に残る1年にするため各種事業を展開し記念すべき1年にしたいと考えています。

問施設の老朽化や耐震性の問題を含め、今後の「公立保育所」のあり方は。

答平成27年3月に策定した鳴門市子ども・子育て支援事業計画に基づき、公立保育所としての役割を果たす施設となるよう、保護者の多様なニーズの把握に努めながら検討することとしています。今後の公立保育所のあり方の方向性を示すことは、早急に取り組まなければならない喫緊の課題と認識しており、平成29年度には、保護

者や有識者、幅広く意見を聞くと共に、教育委員会とも連携しながら、公立保育所のあり方や方向性について示してまいりたいと考えています。また、決定した方針に従い、耐震化も含めた施設整備について出来るだけ早期に対応してまいりたいと考えています。



公立保育所ならではの役割を果たす

問新学校給食センター建設に伴う、地域の要望について、どのような配慮や対策がなされているのか。

答大震災時の緊急避難対策という事で、外部階段を設置し屋上避難を可能にしました。また、継続してグラウンドゴルフにも使用できる地域活用ゾーンを整備予定。更に、センターから排出される水処理につきましましては、農業排水路でありますことから、大型排水処理設備を設置し、環境基準を十分に満たしたものとなっています。



会派 志
たにぎさき
谷崎 徹

問老朽危険家屋を取り壊せば、固定資産税が高くなるので取り壊せないという声を聞かされているが、老朽家屋撤去後の跡地にかかる固定資産税の軽減措置を撤去後も何年か継続する特例措置を設けることにより、老朽家屋の撤去が進み、ひいては税の増収につながるのではないかと。

答昨年度施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」では、特定空き家と勧告された家屋の敷地については、固定資産税の特例措置の対象、即ち200平米までの居住用土地については6分の1の減税、200平米を超える部分については3分の1という特例措置の対象から除外するものとされたところです。こうした適切な管理が行われていない空き家等が、防災や衛生面、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている状況から、撤去後の減免については、国の動向を注視するとともに、鳴門市空家等対策計画協議会における意見や提言も参

考とし、税の公平性も踏まえたうえで検討していきたい。



周辺の環境に悪影響を及ぼす

問平成28年度から、新たに制度化された、地方創生推進の為の国の新型交付金を活用した、四国のゲートウェイ推進事業としての交流拠点施設は、本市のどこに整備され、その内容はどのようなものなのか。

答交流拠点整備につきましては、官民の連携により観光案内や休憩所、地場産品の紹介や販売所等を備えた施設を市内、東西南北の幹線沿い4ヶ所に配置しようとするもので、現在は、民間から整備支援の相談のあった大津町の国道11号線沿いについて検討を行っているところです。

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定して作成しています



会派 公明党 山口県議会議員
浜 盛幸
はま せいこう

問 児童虐待について本市の対応や未然に防ぐ取り組みは。

答 虐待相談、育成相談の場合、個別の検討会議を開催、児童の安全確保のため県の施設、本市子どもいきいき課等との連携を通じて一時保護や施設入所を行っている。虐待通告を受けた際は多角的な情報収集を行い48時間以内に現地に赴き児童の安全確認を行い県児童相談所との連携協力をしています。市民の皆様には児童相談所全国共通ダイヤル189、「いちはやく」の周知啓発も行っていきます。

未然に防ぐ取り組みについては、おめでとう赤ちゃん訪問事業、親子ですくすく声掛け訪問事業により、相談する身内がないことなどで、子育てに戸惑いを感じている保護者の相談、また子育て世代包括支援センター鳴門市版ネウボラを立ち上げ、専任の保健士と助産士を配置して、妊娠、出産、就学前までの切れ目のない相談支援体制を構築、保健士による乳幼児健診、家庭訪問での相談活動、保育所、幼稚園、小・中学校での教職員による観察を通して、早期発

見に努めています。また、関係機関、警察、病院等との連携を密にしながら、児童虐待防止に努めます。



子育ての強い味方

問 児童虐待のない社会を目指すオレンジリボン運動について本市の取り組みは。

答 毎年11月を児童虐待防止推進月間と位置付け、広報啓発を実施、ポスターやリーフレットの配布、本市独自では、児童によりオレンジリボンや家族愛をモチーフにLEDによるルミネカンプスを11月から1月中旬まで市民会館前に設置し、人気投票を行い上位2団体の作品を引き続き本庁舎内に掲示し、市民の皆様には児童虐待防止の啓発を行っています。



会派 平成なると
たくかわ やすじ
宅川 靖次

問 本市のイメージアップ「鳴門やけん」の冊子を継続しつつ、新しい企画など地方創生に向けた取り組みは。

答 現在鳴門わかめ編を編集しており、今後も製塩産業や製菓産業発展の礎となった「鳴門の塩」をテーマとするなど、引き続き本市の誇る地場産品とそれに携わる市民の方々を取り上げることにより、本市のPRと市民プライドの醸成を図ってまいります。



鳴門をPRするんじゃ

す。費用対効果などを検証する必要がありますが、中心市街地にぎわいづくりのためにも実施に向けて検討してまいりたいと考えています。

問 旧鳥居記念博物館「トリードなると」における青色のライトアップは徳島ヴォルティスのホームゲームで開催を告知するためであるが、年間どれくらい行われているのか。

答 ホームでの試合回数である21回行っており、デイゲームにおいては開催日の前日に、ナイトゲームにおいては開催当日に実施しております。今後も引き続きライトアップや看板、市公式ウェブサイトなどを活用し積極的に情報発信することにより、スタジアムへの来場者増加に繋がってまいります。

問 里浦南防災センターに隣接する背後用地の今後の活用方法は。

答 施設建設に合わせた旧施設の取り壊し等に伴い、多目的に活用できるような一体的に整地を行ったところであり、今後の活用方法は地域の皆様のご要望に応じて検討したいと考えています。

個人質問

① 三津 良裕

1. 地域諸団体からの行政要望について

- (1) 平成29年度予算への反映について
- (2) 条例の制定について

2. 安全なまちづくりについて

- (1) 耐震対策について
- (2) 津波対策について
- (3) 避難後の場所・生活について

3. 「2025年問題」について

- (1) 生活支援、医療介護について
- (2) 地域支援について

② 東谷 伸治

1. 新学校給食センターの中長期的活用について

- (1) 児童・生徒数の減少への対応について
- (2) 学校給食以外の活用方法について
- (3) 高齢者の配食サービスについて

2. 不祥事防止について

- (1) 昨今の不祥事とその要因について
- (2) 今後の対応策について

3. 観光・交流のまちづくりについて

- (1) サイクリングツーリズム推進事業について
- (2) 四国のゲートウェイ推進事業について

③ 上田 公司

1. 鳴門市女性子ども支援センターについて

- (1) 運営について

2. 雇用と人事について

- (1) 非正規職員の処遇について
- (2) 時間外勤務手当について
- (3) 職員駐車場について

3. 鳴門板野古墳群について

- (1) 保存・継承について

④ 叶井 克典

1. 経済建設行政について

- (1) 農林水産行政について
- (2) 観光行政について

2. 教育行政について

- (1) 学校給食について
- (2) 教育環境について

3. 危機管理行政について

- (1) 避難場所の環境について



⑤ 山根 巖

1. 教育行政について

- (1) 第二期鳴門の学校づくり計画について
- (2) 幼小中一貫教育について

2. 文化交流について

- (1) グローバルな人材を育てるための文化交流について

3. 人事行政について

- (1) 職場環境の充実について

⑥ 平塚 保二

1. 観光行政について

- (1) 鳴門市うずしお観光協会との連携について
- (2) 塩田再生について
- (3) J R 鳴門駅の周辺整備について

2. 水環境問題について

- (1) 汚水処理人口普及率向上策について

⑦ 大石美智子

1. 「まち・ひと・しごと創生法」による鳴門市総合戦略について

- (1) 鳴門市総合戦略の施策について
- (2) 特産物直売所の設置について
- (3) 遊休農地の活用について

問 学校給食に必要な経費は調理施設の管理費、調理員の人件費、食材費、燃料費、光熱水費、運搬費などである。そのうち保護者から学校給食費として食材費の調理用の燃料費を徴収している。新学校給食センター稼働に伴い、経費の面でかなりの効率化が図られるので、学校給食費を完全に無償にできないのか。

答 現在年間百万食程度提供しており、これを無償化にするには多

問 育児・介護休業法の改正に伴い、市内の事業者において、改正の趣旨や内容が十分に周知されているか。

答 総じて企業規模により対応が難しい状況であり、よりよい就業環境づくりに取り組みます。

問 市長や関係職員が地域諸団体に出向き、お聞きした課題や要望を平成29年度当初予算の中に、どのように予算化したのか。

答 緊急性、必要性、公平性、費用対効果などを見きわめ予算化しています。



三津 良裕
(創心クラブ)

問 団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」。高齢者の生活支援や医療介護、病弱者への支援、介護予防、独り暮らしの方や、いわゆる老・老介護の家庭を支え合う地域づくりをどのように進めていくのか、市の「2025年問題」に対する基本的な方針、対策は。

答 地域福祉計画の策定作業をしています。本市独自の地域包括のケアシステムの構築を図り、対応していきます。

問 津波対策は、どのような対策を取っているのか。

答 自助・共助への一層の取り組みを推進します。

問 市内に737橋の内、広域避難路等に架かる主要な10橋を選定し、7橋は落橋防止対策工事が完了していません。

答 市内に737橋の内、広域避難路等に架かる主要な10橋を選定し、7橋は落橋防止対策工事が完了していません。



いざという時に備えて

額の経費が必要であり、引き続き給食費のご負担をいただきます。



ひがしだに しんじ
東谷 伸治
(郷土)

問 75歳以上の後期高齢者や独居高齢者が増加する中、介護保険適用外サービスとして配食サービス

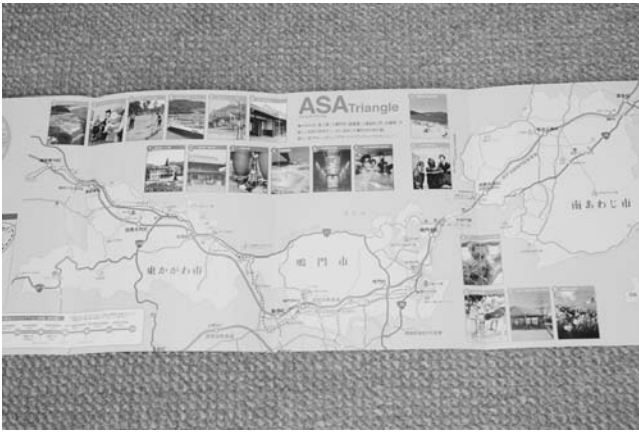
のニーズが高まっている。一人暮らしの高齢者は、家族と同居している高齢者よりも、たんぱく質等の栄養素が不足しているとの調査がある。特に、男性一人暮らし高齢者の42%は普段の食事をコンビニで弁当や惣菜を購入しているとの調査結果もある。鳴門市における高齢者の食事状況、また低栄養リスクや孤食について、どのように把握しているのか。

答 高齢者の約18%の方が在宅生活を続けるために、配食サービスが必要だと考えているとの調査結果がありますが、当面は高齢者の生活ニーズの把握や分析など、情報収集に努めるとともに、徳島県栄養士会との連携による本市独自の新たな訪問栄養指導サービスの開始に向けた調整を進めます。

問 昨今、健康志向の高まりやア

ニメ「弱虫ペダル」のヒットを追い風に、特に中高年や若い女性にサイクリング愛好家が増えている。そのような中、鳴門市が進める新型交付金を活用した、南あわじ市・東かがわ市を結ぶサイクリングツアーリズム推進事業の概要は。

答 現在事業計画を作成しており、南あわじ市と本市の間にトラックによる陸路輸送を確保するなどし、3市をつなぐコースを設定します。また、案内表示やメンテナンス用品の設置、駐輪設備やレンタサイクルなど受け入れ体制の整備を行います。



3市を自転車で巡る



うえだ こうじ
上田 公司

問 昨年8月、市長は鳴門市女性子ども支援センターについて、2、3か月後には支援ができるようにするからと面談者に啖呵を切りながらその約束を果たしませんでした。自ら言った約束を果たせなかったことを謝罪し理解を求めるべきでは。

答 昨年8月に面談した方々には、話し合いの中で要望や意見などがあれば、いつでもお知らせくださると伝えさせていただいています。

問 昨年9月議会で、有給休暇について市が労働基準法に反した運用をしていたことから早急に労働基準法に従うよう改善を求め、通勤手当も他市町村や正規職員と比べても相当低いことから改善を求めていたが、その後どう改善したのか。

答 有給休暇については、来年度から繰越制度を導入、また平成29年4月を起算として実質3年6か月以上継続勤務している職員につ

いて加算も行うよう改めた。通勤手当もこれまでの月額130円以内で月額上限3000円以内の支給を、来年度から月額620円以内で月額上限1万2900円以内と改めます。

問 池谷地区にある宝幢寺古墳、天河別神社古墳群については、これまで市として殆ど啓発活動が実施されていないが、国指定史跡となつたことを機に、更なる関心を促すため大切さや重要性を知る機会を設けるとともに、幹線道路沿いに見やすく分かりやすい案内板の設置が必要だと思いが。

答 今後各保存会を始めとする地域の協力をいただき、史跡の大切さなどを継ぐための保存活用事業を検討したい。また、いずれの古墳も県道から少し入った位置にあることから、走行しながらでも確認できる分かりやすい案内表示の設置について今後県とも協議したいと考えられています。



約1,600年前の先人の足跡



かない かつのり
葉井 克典
(郷土)

問 鳴門市ブランド産地振興補助金で手入れ砂の利用予定は。なる和金時に、川砂と海砂が手入れ砂として利用できないか。

答 5カ年平均利用実績の倍増を計画導入量とし、手入れ砂の導入経費の10分の1相当を交付単価とし、計140万円を手入れ砂導入の助成費としています。当面は、生産ほ場の特性と生産技術や川砂の有効性の研究、実証実験、補助金による生産費軽減支援など川砂を活用した生産技術の確立や普及を推進します。

問 学校給食会が事業を撤退した後、給食のパンをどのようにするのか。

答 約5500食の当日焼きで購入は困難であり、当日焼きではないパンを購入するか、県内8



主食を提供する学校給食会

市は、週3日〜4日を米飯給食、完全米飯給食の自治体もあり、完全米飯給食も選択肢の1つとして考えています。

問 観光行政としてWi-Fi環境の充実が必要と考えるが、また環境整備の促進のため補助制度を設けては。

答 Wi-Fi環境整備は必要性が高い事業であると考え環境整備を進めております。補助制度の効果やニーズを注視しながら検討して参りたいと考えています。

問 学校にもWi-Fi環境を検討すべきと考えるが。

答 タブレットとWi-Fi環境の整備について、検討したいと考えています。

問 避難所に耐災害性の高いWi-Fiを活用した情報の受発信環境の整備は。

答 避難所のWi-Fi環境の整備は、各施設での平時におけるニーズやコストなど、検討して参りたいと考えています。



やまね いわお
山根 巖
(有志会)

問 第二期鳴門の学校づくり計画の基本的な考え方と適正規模と適正配置は。

答 前回計画の基本的な考えを引き継ぎながら本市の実情に、より即した学校再編計画となるよう、将来の児童・生徒数の推計や地域性、地理的な条件を踏まえた計画とし、適正規模は、クラス替えのできる複数学級や多様な学習活動ができる学級人数を基本とし、適正配置は、現在の5つの中学校区を基本と考えています。

問 鳴門市全体としての幼小中一貫教育のあり方は。

答 幼小中一貫教育のモデル的な取り組みを推進している瀬戸中学校区の成果を生かし、他の中学校区でも、学校や園の特色や地域性に応じた幼・小・中の学びの連続性を確保するための教育を推進してまいります。

問 鳴門市姉妹都市親善使節団青少年派遣事業に参加した青少年の

感想と成果は。

答 ドイツ・リューネブルク市で、ホームステイを通じ言葉や文化の壁を乗り越えた交流の素晴らしさや楽しさを実感して帰国し、異文化を理解し尊重する意識の醸成につながるとともに、人間的にも成長する貴重な機会になっています。



美しい町並みに溶け込むリューネブルク市庁舎

問 本市の職場環境の充実について今後どのように取り組んでいくのか。

答 組織機能の見直し、現行の担当制の見直しなど新たな職制のあり方など事務事業の全体最適化に向けた検討を行います。また、職員メンタル面に关しましては、職員個人のストレスの状況を把握し、今後の人事配置に配慮が必要であれば適宜対応して参ります。

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定して作成しています



ひらつか やすじ
平塚 保二

問 鳴門市は観光の町であり、渦潮も世界遺産を目指す中、観光都市としての鳴門を生かさなければならぬ。また鳴門は塩田発祥の町でもあるが、今後の入り浜式塩田をどうするのか。

答 国指定文化財福永家住宅は江戸時代に建築された国内で唯一残された製塩業の姿を今に伝える貴重な文化遺産であり、安全かつ利便性の高い環境のもと公開が行われるよう努めます。本市の観光振興課や公園緑地課とも連携をし、官民一体となった活用のあり方を検討します。

問 うずしお観光協会のあり方について、ここ数年補助金が1800万円と固定化しているように見受けられるが増額の予定はどうか。

答 補助金は組織の経営の根幹となる人件費や事業費の一部として算定しており固定化を前提とするものではありません。

鳴門市うずしお観光協会の経営につきましましては、法人化されました当初から申し上げておりますと

おり、会員数を増やし安定した会費収入を確保するとともに、物産販売などの収益事業の強化を図ることが重要であると考えています。

問 鳴門駅周辺の整備問題について、JR四国の意向は、鳴門線は支線の上、大きな赤字路線であり、池谷から鳴門駅までの間は、できる事なら廃止か業務委託を考えているとのこと、鳴門駅が無くなるという事も想定が出来る、通勤通学に大きな支障が出る事も考えられるが、JRや関係団体とどのように連携していくのか。

答 鳴門駅及び鳴門駅前ロータリーは、年間約60万人の利用のある本市の交通の要衝であり、来年度は歩道橋の撤去及び駅周辺の観光案内やレンタサイクル、足湯等を考えています。

工事の施工にあたっては、JR・バス・タクシー事業者、ボランティア支援の会などと協議の上、着実に推進してまいります。



新たな整備が予定される鳴門駅周辺



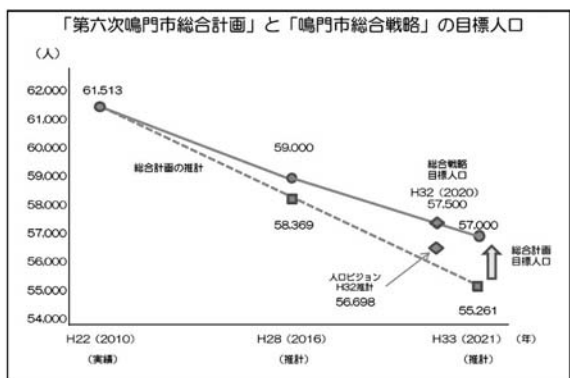
おおし みちこ
大石美智子
(創心クラブ)

問 国による、まち・ひと・しごと地方創生法による鳴門市総合戦略「なると未来づくり総合戦略」が策定されているが、その中で目標人口達成の効果が見込める有効な施策は何か。

答 目的や事業に応じて5つの戦略プロジェクトを設定し推進する財源として、国の地方創生推進交付金を活用する事とし、ASATライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業、四国のゲートウェイ化推進事業、なると第九及び板東俘虜収容所の歴史活用事業の3事業を重点事業として進め、人口減少対策、地域活性化に資する本市の地方創生を図ってまいります。

問 交流人口を増やし、にぎわいづくりの地方創生として、直売所は農業振興や地域活性化、女性農業者の自立、又、地域社会への貢献が期待できる活動である。新年度に計上されている産直拠点施設の事業や現状は。

答 四国のゲートウェイ化事業の交流拠点整備では、市内幹線沿い4ヶ所を想定しており、平成29年度にはJA大津松茂から計画・要望のあった、ファーマーズ・マーケット農産物直売所調査研究及び開業支援業務に対し農漁業6次産業化推進事業による助成を予定している。規模等については今後検討される予定であり、市としては交流拠点施設としての民間主体による産直の早期実現に向けての支援をし、観光客や周辺市町も含めた交流人口、消費人口を確保し農業、漁業を初め、地域経済の発展と活性化を図っていきたくと考えています。



人口減少に歯止めをかける

市の予算の使い道について議論しました

8日間にわたり、予算決算委員会および分科会を開催し、平成29年度当初予算・平成28年度補正予算に関する21議案について審査しました。

〔委員会での審査の中で出た質疑、それに対する答え・説明、意見・要望を抜粋したものです。〔■〕：質疑 ●：答え・説明 ★：意見・要望〕
※予算決算委員長報告の全文は、鳴門市議会ウェブサイト、「議会審議結果報告」の「委員長報告」をご覧ください。

教育 文化

【教育・文化】

■「なると第九」ブランド化推進費のうち、映画「バルトの楽園」上映に関する委託料について。

●板東俘虜収容所開所100周年事業の一つとして市内の小学校5年生から中学校3年生を対象に各

学校で上映するものです。

★できる限り上映機会を増やし、なると第九100周年を全国に向けてPRしてほしい。

★2018年の記念事業以降、なると第九を盛り上げる機運が急に下がらないように事業規模と予算規模のバランスを考えてほしい。



◇

■学校トイレ環境改善事業について、750万円の予算でどの程度の改修設計を行うのか。

●新たに3校を設計する予定です。基本的に洋式化を進めていくが、どの程度和式を残すのか、各学校と協議したうえで決定していきたい。

◇

■洋式化率について。

●昨年整備が完了した林崎小学校では洋式化率が71.4%となっていて、この程度が最終的な整備率の目安になるのではないかと考えています。

◇

■英語検定に関する補助金について、本市の中学生の英語検定3級合格率が30%台と聞いているが、この補助金は受検人数を増やすことだけが目的となっているのでは。

●単に受検させることが目的ではなく、今後は教員研修等も行い、学年に応じたそれぞれの段階の力をつけることで英語検定3級の受検率・合格率は向上していくと考えている。

★この補助金が有効に使われ、100%に近い合格率となるよう努めてほしい。

福祉 健康

【福祉】

■高齢者住宅改造費助成事業の周知について。

●住宅改造に関して、他部署で相談があった場合にもご案内できるように、他部署の窓口にパンフレットを配置する。また、ケアマネ

ージャーの研修会でも事業について説明をしたい。

★この事業について、潜在的に必要とされる方は少なからずいるのでさらなる周知が必要である。

◇

■高齢者無料バス優待事業費負担金の積算方法と対象路線について。

●年2回乗降客調査を実施し、一乗車140円で計算しています。負担金の対象となる路線は徳島バスの自社路線で、協定路線については他部署からの支出となっています。



◇

■鳴門市女性子ども支援センター「ばぁとなー」において、平成27年度と比較して平成28年度の相談件数が大幅に減少したことについて。

●平成27年度は3,653件、平成28年度は12月末時点において381件だったのは、件数の数え方を県内で統一したため。

■来年は相談員が5名体制になる予定だが、年間で500件の相談に対して5名の相談員は多いのでは。他団体ではもっと少ない相談員で鳴門市以上の相談を受けている。また、前年度と比較して平成28年度は相談に訪れた方に同等の対応をしているのか。

●相談の実人数については平成27年度と比較して大きく変動しておらず、相談員5名は必要だと考える。対応についても平成27年度と比べて遜色ない。

★相談件数が減っていることから、前年度と同等の対応をしているとは思えない。相談員の増員については、DVについて専門的な知識や経験のある方を採用し、相談員のレベルアップが図れるようにすべき。

◇

■相談者への同行支援について、市から声かけを行っているのか。

●市からは本人の希望をうかがい、それぞれの人に合わせた丁寧な同行支援をしている。

★相談をした初期の頃はどのようによいかかわからないことが多い。相談をする方の立場に立ったケアに努めてほしい。

◇

■民生・児童委員は非常に仕事が忙しく、なり手が不足しているが、その解消に向けた対策は。

●同協力員の必要性や導入等について、民生・児童委員協議会の事務局を担っている、鳴門市社会福祉協議会と協議・研究していきたい。



★民生・児童委員の方は他の役職を兼務している方も多く、少しでも負担が軽減されるように鳴門市社会福祉協議会に働きかけてほしい。



■生活困窮者自立支援事業のうち、中学生への無料学習支援について。

●生活困窮状態にある世帯等の学力や進学に不安のある20名弱の中学生が利用している。



■移動支援事業としてリフトワゴンカーの利用の拡充についてどのように市として考えているのか。

●市民が障害者手帳等の申請に来られた時に、様々な障害のある方が利用できるサービスの一つとして周知しており、今後も多くの方に利用していただけるよう努めていく。

【健康】

■収納率向上特別対策事業に関して、短期被保険者証、資格証明書の発行件数について。

●平成29年2月末現在において、3ヶ月短期被保険者証が177世帯、6ヶ月短期被保険者証が27世帯、資格証明書が207世帯。

★国民健康保険料を支払えない方が、医療機関の窓口で10割を負担できるとは考えにくく、医療機関で受診を控えることで、疾病の重篤化に繋がりがねない。

★資格証明書の発行には、特に慎重に行わないといけな

い。
★特定健診・特定保健指導事業に関して、受診率の低い状況が続いているが、通院中を理由に受診しない対象者についてご本人から了解を得た上で医療機関からの検査結果の提供を受ける取り組みなど、受診率の向上に努めていただきたい。

暮らしを守る

【防災・災害】

■デジタル防災行政無線について、市民からは放送が聞き取りにくいとの声もあるが、どのような対策を行っているのか。

●放送が聞き取りにくい場合、代替機能として放送内容を確認できる電話対応サービスやメール配信サービスを整備している。



【消防】

■消防団員の担い手の確保が難しくなっているが、今後どのように進めていくのか。

●本市の消防団員は977名で、平成21年度からは微増しているが、今後は少子高齢化とともに担い手不足になっていくと思われる。本市内外へ通う学生などにPRを行い、若い世代の入団促進に力を入れたい。

★団員の人数だけにこだわることなく、機能的に動ける人員の確保に努めてほしい。

市民生活

【くらし】

■鳴門市消費生活センターの相談員を3名体制にすることで、センターの開所時間の延長などを考えているのか。

●現在は2名の相談員が原則交代勤務していて、常時1名での相談だが、3名になることで、常時2名体制にしたいと考えている。例えば勤務時間をずらすことにより時間延長が可能であるか勤務状況等をみながら検討したい。



■市営墓地の管理について。

●基本的には墓地の使用者に管理していただいているが、対処できない場合には市が対応しています。



■犬・猫避妊去勢手術推進業務について。

●飼い主の飼育限度を超えた繁殖を防止するため、去勢手術費用の一部を負担するものです。

★市内の犬・猫保護に取り組んでいる団体と連携し、事業の周知・広報等に努めてほしい。



●駅の歩道橋は線路上にあるため、JR側が撤去工事を施工することが決定している。この委託料は上限金額として計上している。



★駅を整備する機会にWi-Fiを設置してはどうか。

●外国人観光客も増えてきているので検討していきたい。



■老朽危険空き家除却支援事業費の補助金900万円の内容について。

●老朽化して倒壊等の危険のある空き家の除却に対して一戸あたり上限60万円の補助をおこなう事業で、15戸を予定している。これまで3年間実施している。



■この事業の市民への広報は。

●市の広報4月号により募集を行います。また市民等からご相談や、昨年度実施した実態調査によって、危険度が高いと判定された空き家の所有者に適正管理をお願いする中で、この補助事業を説明して活用を促進している。



■住宅維持管理費の修繕料について。

●公募住宅は、耐震化できているものについても建築後相当な年数が経過しており、修繕しなければ提供できない戸数が増えているため、募集に先立って公募住宅修繕という経費を計上している。

【まちづくり】

■鳴門駅周辺整備事業の委託料について。

★市営住宅はかなり老朽化しており、維持するには多額の費用がかかる。ある程度新しくなければ入りたくないという方も多いと思うので、無理して利用せずに用途廃止していき、足りなくなれば民間を活用するという方向性で進めていただきたい。

【環境・衛生】

■市指定ごみ袋の値段が、原材料の価格が下がっているのに高止まりしていることについて。

●市指定ごみ袋の製造及び配送業務については入札を実施しているが、製造原価には原料費以外の要素も含まれています。

★入札にあたっては、予定価格設定の根拠を説明できるようにすべきである。



【道路・渡船】

■道路維持補修費の工事請負費として5,500万円の予算が計上されているが、この金額で十分補修ができるのか。

●この金額で全部を補修するという事は難しいが、現状、道路補修については老朽化して危険なところを中心に、優先順位を決めて行っています。



■渡船運行管理費の修繕料については、新しく船を購入するとなると多額の費用がかかるので、耐用年数などを考えて何年先に取り替えるか計画していかなければと思うが、どのように考えているのか。

●渡船の乗客数も減少しており、小型化できないか検討を行っています。

★利用者数が減っているということだが、人命に関わる事なので安全性を考えて、計画的かつ早めに検討していただきたい。

観光
産業

【観光】

■鳴門の観光振興を考えるにあたり、一般財団法人自然公園財団とはどのような連携をしているのか。

●鳴門スカイラインを含めた施設の管理を委託し、鳴門公園等を使

ったイベントを行う場合には、協力を頂きながら開催を行っている。また、県、市、財団、鳴門公園内の店や施設の持ち主等が連絡会を持ち、問題解決のための協議を行っている。

【農業】

■新規就農総合支援事業費3,300万円の内容について。

●新たに本市で就農を希望する方や農業に興味のある方、法人等に対して広く就農の機会や農地を紹介し、幅広い分野より本市の農業の担い手を確保する事業であり、就農を希望する方1人あたり年間150万円、夫婦共同申請の場合は、夫婦2人で年間225万円を支給するものである。

★目立たない事業であるため、広く市内外にPRして人口を増やす政策の1つとして活用してほしい。

平成29年 第2回定例会の開催予定

平成29年第2回定例会は、6月8日から6月27日までの20日間の予定です。

- 6月8日(木) 第2回定例会 開会 イ ケ
- 予算決算委員会(議案説明) イ
- 9日(金) 一般質問通告締切
- 14日(水) 一般質問(会派代表質問) イ ケ
- 15日(木) 一般質問(個人質問) イ ケ
- 16日(金) 一般質問(個人質問) イ ケ
- 予算決算委員会(質疑・採決) イ
- 19日(月) 総務文教委員会 イ
- 20日(火) 生活福祉委員会 イ
- 21日(水) 産業建設委員会 イ
- 26日(月) 議会運営委員会・全員協議会
- 27日(水) 第2回定例会 閉会 イ ケ

インターネットの中継・録画配信
 ケーブルテレビの中継・録画放送

人事案件

●固定資産評価審査委員会委員

- たまい きょうこ 玉井 京子 氏 (撫養町)
- かわかみ しげる 川上 茂 氏 (鳴門町)
- もりきた のぶとし 森北 伸年 氏 (大麻町)



市議会では、市民の皆様に分かり易い、開かれた議会を目指し、本会議や常任委員会、また特別委員会などについては、インターネットによる生中継と、録画による配信も行っており、いつでもご覧いただけます。

なお、本会議は、ケーブルテレビのテレビ鳴門でも、生中継に加え、録画配信を行っております。是非ご覧下さい。

市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメール等でお寄せください。

募集中



- ① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものをお願いします。

※内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。（紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。）

※紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

※投稿していただいたものは返却できません。

※写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますので、ご了承ください。

✿宛先✿ 鳴門市議会事務局
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎(088) 684-1234 ☎(088) 684-0814
✉gikai@city.naruto.i-tokushima.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



～編集を終えて～

鳴門市は、平成29年5月15日に市制施行70周年を迎えました。

平成元年6月から発行している鳴門市議会だよりも、次号でいよいよ100号の節目となります。

長年愛され続けている市庁舎（昭和38年3月完成）にも、補修の必要なところが目立つようになり、時のもたらす変化の大きさを感じます。

70年という時間のなかで、町並みや人々も潮の流れのように変わってきました。

この流れのなか、議会だよりは変わることなく議会と市民の皆様をつなぐ役目を果たしたいと願いつつ、議会の様子をお伝えしています。

これからも議会だよりをご愛読くださいますよう、よろしく願いいたします。



《議会広報委員会》

- 委員長：上田 公司
副委員長：東谷 伸治
委員：谷崎 徹・宅川 靖次・大石美智子
松浦 富子・山根 巖・橋本 国勝

議会活動(平成29年3月～5月)

3月

- 1日 産業建設委員会
- 2日 予算決算委員会全体質疑
- 3日 予算決算委員会全体質疑
- 5日 消防団詰所落成式（川東分団）
- 6日 予算決算委員会第1分科会
- 7日 予算決算委員会第2分科会
- 8日 予算決算委員会第3分科会
- 13日 予算決算委員会
- 14日 議会運営委員会・全員協議会
議会運営委員会
- 15日 第1回定例会閉会
- 22日 市シルバー大学卒業式
TEAM 鳴門西全国大会出場表敬訪問
- 26日 鳴門市吟剣詩舞道大会
- 30日 議会広報委員会

4月

- 4日 国際交流員離任挨拶
- 7日 市内新規就職者激励大会
- 9日 「板東俘虜収容所」開所100周年式典
およびドイツ兵慰霊碑献花
- 10日 徳島県市議会議長会定期総会
- 11日 黄色い帽子贈呈式（板東小）
- 12日 黄色い帽子贈呈式（板東幼）
- 14日 国際交流員着任挨拶
- 16日 第16回ツーデーウォーク出発式
- 17日 議会広報委員会
- 23日 阿南市新庁舎落成記念式典
市姉妹都市親善使節団結団式
- 26日 四国市議会議長会定期総会（高松市）
- 28日 市婦人連合会総会
- 30日 市身体障害者連合会総会
市子どものまちづくり推進協議会総会

5月

- 1日 議会広報委員会
- 6日 市保育協議会定期総会
- 9日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会定期総会
（～10日・下関市）
- 10日 酒田市議会（山形）行政視察来庁
- 12日 市幼小中PTA連合会総会
- 13日 市戦没者追悼式
- 14日 市政施行70周年記念式典
- 17日 第42回ふれあいグリーンキャンペーン
- 18日 第22回 鳴門市姉妹都市親善使節団
リユネブルク市訪問（～23日）
議会広報委員会
- 19日 大麻町商工会通常総会
- 23日 市老人クラブ連合会総会
- 24日 全国市議会議長会定期総会（東京）
- 25日 第2回定例会日程協議
市防犯協会理事会及び総会
- 26日 市シルバー人材センター定期総会
- 28日 うず潮身体障がい者総会
- 30日 徳島環状道路建設促進期成同盟会総会
- 31日 角田市議会（宮城）行政視察来庁
チャレンジデー2017
議会だより配布

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮し作成しています。